

2004年度 第1回 JSD 会員総会および理事会報告

JSD 事務局

1. 結論

出席者数（委任状の提出者を含む）が規約で定める定足数を満足し、理事会と総会の開催が成立した。

総会では、理事会で審議終了した支部長提出の議案が説明され、満場一致で承認された。また、報告事項について説明があり了承された。

2. 出席者および委任状提出者

（1）理事会：10名 / 10名

出席者：黒野宏則、松本憲洋、末武透、森義仁、
4名

委任状：小林秀徳、山内昭、三藤利雄、和泉潤、松本安生、鈴木信幸
6名

オブザーバー：森田道也、明神知
2名

（2）会員総会：49名 / 122名

出席者：今別府忍、内野明、岡本勝吾、蓮尾克彦、末武透、森義仁、明神知、
黒野宏則、森田道也、河野誠二、米澤麻子、坂倉省吾、島田俊郎、村上祐介、
上原拓郎、大賀英史、松本憲洋、落合以臣
18名

委任状：大迫尚司、松本安生、町田欣弥、山内昭、大成利広、熊澤光正、
河野北川正洋、三藤利雄、石井宏典、宇野恵裕、伊藤武志、榎本哲也、
池田誠、大澤光、手塚博之、海老根淳子、中村州男、石原明日子、豊島雅和、
和泉潤、岩澤嘉則、富樫慎一、坂元祐治郎、竹内智、伊藤良之、野田英志、
土屋哲、斎藤環、飛田道典、鈴木信幸、坂田善種
31名

以上

国際システムダイナミクス学会日本支部

2004 年度 第 1 回 会 員 総 会

開催期日：2004 年 1 月 31 日（土）

16 時～17 時

開催場所：中央大学後楽園キャンパス

J S D 支部長 小林 秀徳

議事項目

議長：支部長 小林秀徳

- (1) 2003 年度決算報告：承認事項
- (2) 2003 年度事業報告：報告事項
- (3) 2004・2005 年度支部長選出：承認事項
- (4) その他

議長：新支部長

- (5) 2004・2005 年度役員選出：承認事項
- (6) 2004 年度事業計画：承認事項
- (7) 2004 年度事業予算：承認事項
- (8) 規約の改訂：承認事項
- (9) その他

(1) 2003 年度収支決算書

(2003 年 1 月 1 日 ~ 2003 年 12 月 31 日)

下記の通り、国際システムダイナミックス学会日本支部 2003 年度収支決算をご報告いたします。

	2003年度予算案	2003年度決算額
収入の部		
前期繰越金	865,058	865,058
個人会費	520,000	711,000
賛助会費	50,000	150,000
出版物予約金	0	0
出版物売上	20,000	15,750
雑収入	90,000	93,867
当期収入合計	680,000	970,617
収入の部合計	1,545,058	1,835,675
支出の部		
通信費	30,000	53,255
資料印刷費	20,000	0
事務用品費	10,000	13,245
書籍代	10,000	0
講師料	0	70,000
講師交通費	50,000	0
交通費	100,000	720
雑費	50,000	15,761
2002年度未処理分	0	17,241
研究会地方開催補助費	100,000	72,830
アルバイト謝金	10,000	10,000
学会誌印刷代	300,000	189,000
事務所賃貸料	120,000	0
当期支払い合計	800,000	442,052
次期繰越		
現金残高		63,486
預金残高		1,330,137
現預金合計	745,058	1,393,623
支出の部合計	1,545,058	1,835,675

- 注： 1. 2002 年度未処理分は、2002 年度の会計処理後に報告された、2003 年度実施のセミナー準備費用立替分を 2003 年度に支払ったもの。
 2. 2003 年度に発生した立替分で、年度内の処理が間に合わず、2003 年度未処理分として、この決算報告には含めていないものが存在する。

以上の通り報告いたします。

2004 年 1 月 31 日 理事 (会計担当) 末武透

上記の会計について監査の結果、適正であると認めます。

2004 年 1 月 31 日 監事 鈴木信幸

監事 松本安生

参考 : 会費収入の内訳

	個人会費	一般		学生	賛助会費
		一般	学生		
2002年度分	25,000	25,000	-	-	-
2003年度分	474,000	450,000	24,000	100,000	100,000
2004年度分	212,000	210,000	2,000	50,000	50,000
合計	711,000	685,000	26,000	150,000	150,000

(2) 2003 年度事業報告

(2003 年 1 月 1 日 ~ 2003 年 12 月 31 日)

1. 研究会等

< JSD 研究会 >

関西地区 J S D 研究会

期日 : 1 月 1 1 日 (土) 13 時 ~ 17 時 30 分 場所 : 関西大学 経済・政治研究所会議室

内容 :

講演 1 : チュートリアル「ビジネス戦略(ストーリー)からモデリングまで」

発表者 : 山口薫氏 大阪産業大学教授

講演 2 : 「国民年金モデルとその実効性」

発表者 : 齋藤環氏 (株)NTTデータ、山内昭氏 : 関西大学教授

講演 3 : 「プロジェクト・マネジメントにおけるダイナミクス:個人作業とスケジュール遅延」

発表者 : 越島一郎 千葉工業大学

第 4 回 JSD 研究会

期日 : 2003 年 5 月 17 日 (土) 13 時 ~ 17 時 場所 : 中央大学後楽園キャンパス 6 号館 6310 教室

内容 :

講演 1 : 「科研費研究」「グローバル・モデルの研究」に関する中間報告(その 2)」

発表者 : 池田誠 東洋大学国際地域学部教授

講演 2 : 「人口・資源モデルの基礎的解析」

発表者 : 竹内智 山梨大学工学部環境システム工学科教授

講演 3 : 厚生年金モデルと首都圏モデル

発表者 : 島田俊郎 明治大学名誉教授

第 5 回 JSD 研究会

期日 : 2003 年 7 月 12 日 (土) 13 時 ~ 17 時 場所 : 中央大学後楽園キャンパス 6 号館 6318 教室

内容 :

講演 1 : 「SD モデル構築におけるマイクロ・マクロ・リンケージ」

発表者 : 末武透 朝日監査法人

講演 2 : 「システムダイナミクス、マクロエコノミクス and/or ポリシーサイエンス」

発表者 : 小林秀徳 中央大学総合政策学部

第 6 回 JSD 研究会

期日 : 2003 年 9 月 13 日 (土) 13 時 ~ 17 時 場所 : 中央大学後楽園キャンパス 6 号館 6202 教室

内容 :

講演 : 「システムダイナミクスとエージェントベースモデル」

発表者 : 石田和成先生 東京農業大学

報告 : 第 21 回 S D 学会国際会議の報告

報告者 : 末武透氏

第 7 回 JSD 研究会

期日 : 2003 年 11 月 8 日 (土) 13 時 ~ 17 時 場所 : 中央大学後楽園キャンパス 6 号館 6210 教室

内容 :

講演 : 「An Application of System Dynamics to an Obesity Prevention Program」

発表者 :大賀英史((独)国立健康栄養研究所)、米澤麻子(ライフケアパートナーズ)
論文紹介:「Models for Collaboration : How System Dynamics Helped a Community
Organize Cost-Effective Care for Chronic Illness」
発表者 :大浦豊弘(ライフケアパートナーズ)

JSDワークショップ長崎

期日 : 2003年12月6日(土)9時~17時30分 場所 : 県立長崎シーボルト大学西棟101号室

内容 :

講演 :「新規事業創造における事業部シナリオ分析 - ゲームソフト会社の事例とともに - 」

発表者 : 田口 剛史 (北陸先端科学技術大学院大学博士課程前期)

山内 昭 (尾道大学)

講演 :「企業内技術者教育でのシステム思考教育の取り組み」

発表者 : 高橋 勉 (中部電力株式会社)

講演 :「さとうきびの収穫期拡大が製糖工場に及ぼす影響」

発表者 : 樽本 祐助・笹倉 修司

(独立行政法人農業技術研究機構九州沖縄農業研究センター)

チュートリアル :「都市計画とSD」

発表者 : 和泉 潤 (名古屋産業大学)

講演 :「途上国における社会経済開発とSD」

発表者 : 末武 透 (朝日監査法人)

講演 :「学習と説明責任のための開発評価 - システム・ダイナミクスからの視点 - 」

発表者 : Surya Raj Acharya (運輸政策研究所)

講演 :「内生的成長モデルによる部門別国民経済計算」

発表者 : 上領英之 (広島修道大学)

講演 :「変貌する不透明な社会で期待が膨らむシステムダイナミクス」

発表者 : 松本 憲洋 (POSY)

講演 :「社会システムのモデリングにおけるシステムダイナミクスの位置づけ」

発表者 : 内野 明 (専修大学)

ワークショップ

司会 三藤 利雄 (県立長崎シーボルト大学)

基調講演 「SDの一層の普及を目指して」 亀山 三郎 (中央大学)

ディスカッション 木須 博行 (長崎大学)・米川 清 (熊本学園大学)

2. 研究発表会の開催

期日 : 2003年3月19日(水)13時~17時30分 場所 : 中央大学市ヶ谷キャンパス9階会議場

担当分科会 : ビジネス・プロセス・ダイナミクス研究分科会(主査:森田道也 幹事:松本憲洋)

内容 :

1. ビジネス・プロセス研究の意義

講演者: 森田道也(学習院大学)

2. 為替リスク管理とSD

講演者: 岩澤嘉則(住友生命総合研究所)、佐々木登(RS アセット・マネジメント株式会社)

3. フィードフォーワード・フィードバックと経営の関係

講演者: 内山章(九州電力)

4. モデル・ベスト経営

講演者: 松本憲洋(有限会社 POSY)

5. SD によるリユースとリサイクルの考察

講演者: 榎本哲也(横浜容器工業株式会社)

6. 企業における定性的要因の及ぼす影響のモデリング

講演者: 近藤史人(日本ヒューレットパカード株式会社)

7. Complex Eco-economic Systems

講演者: Pawel Bartoszczuk(北陸先端科学技術大学院大学)

3. フォーラムの開催

第3回 新世紀実学経営フォーラム

- 循環型社会を目指した市民・行政・企業のコラボレーション -

期日 : 2003年1月15日(水)13時~15時30分

会場 : 中央大学市ヶ谷キャンパス9F 国際会議場

参加者 : JSD 会員(18人)、講師関係者(3人)、一般(31人) 合計52人

内容 :

基調講演 : 「コラボレーション・ツールとしてのシステム・ダイナミクス」

講演者: 小林秀徳(中央大学)

講演1 : 「協働型資源回収システムにおけるリスク」

講演者: 松本安生(神奈川大学)

講演2 : 「行政におけるダイナミックな政策分析の重要性」

講演者: 神崎広史(千葉市役所環境局環境管理部)

講演3 : 「企業における循環型社会への取り組み」

講演者: 脇元一政(NKK環境エンジニアリング本部)

ディスカッション: 「循環型社会を目指した市民・行政・企業のコラボレーション」

4. 研究分科会

下記研究分科会が設立され活動が行なわれた。

全ての研究分科会は本日を持って終了とする。

継続する場合も含めて提案書を作成し、明確な目標を設定し、新たにメンバーを募集して再開する。

研究分科会名称 : 島田SD長期モデル検証分科会

主査: 島田俊郎

研究分科会名称 : ビジネス・プロセス・ダイナミクス研究分科会

主査 : 森田道也 幹事 : 松本憲洋

メンバー: 伊藤武志、伊藤良之、岩澤嘉則、内山 章、榎本哲也、河野誠二、
近藤史人、佐々木登、末武 透、武永将一、手塚博之、松本憲洋、
水内啓介、宮本善文、明神 知、森田道也、山口庸一

- 期日 : 2003年1月21日(火) 場所 : 中央大学市ヶ谷キャンパス講演
「意思決定:複合的かつ重層的に問題をとらえる」宮本善文(石油公団)
- 期日 : 2003年2月18日(火) 場所 : 中央大学市ヶ谷キャンパス
「3月報告の粗筋とモデルの紹介」近藤史人(HP) 松本憲洋(POSY)
- 期日 : 2003年5月9日(金) 場所 : 学習院大学
「経営品質賞に見る経営品質向上活動」伊藤良之(経営進化研究所)
「2003年度運営体制と研究について」全員
- 期日 : 2003年6月13日(金) 場所 : POSY社
パネルディスカッション
「ERPをベースにしたモニター/コクピットの現状と将来の予測」
水内啓介(IBM BCS)・武永将一(日本総合研究所)
- 期日 : 2003年7月11日(金) 場所 : 学習院大学
「Utility 業界における統合分析環境の利用法」の後半 水内啓介(IBM BCS)
「UML ビジネスモデリング」 明神 知(オーガス総研)
- 期日 : 2003年9月12日(金) 場所 : 学習院大学
「ソフトウェアプロジェクトにおけるシステム思考の応用」 河野誠二(日本HP)
- 期日 : 2003年11月7日(金) 場所 : POSY Corp.
「開発方法論」 末武透(朝日監査法人)
- 期日 : 2004年1月10日(土) 場所 : POSY Corp.
「BSCの戦略効果を高めるモデル・ベスト経営」 松本憲洋(POSY)
「日本経済モデルのSDによる考察」 末武透(あずさ監査法人)・
今別府忍(NTTコムウェア)・岩澤嘉則(住友生命)・松本憲洋(POSY)

研究分科会名称 : SD教育研究分科会

主査 : 池田誠 幹事 : 末武透、大賀英文

メンバー: 松本憲洋、松本安生、和泉潤、竹内智、末武透、大賀英史、森義仁、池田誠

研究会開催 : 環境分科会と同時開催で実施した。

教育・環境・合意形成の分科会に関連した活動 :

期日 : 2003年11月14日 「東洋大学地域活性化研究所シンポジウム」

場所 : 群馬県板倉町の東洋大学国際地域学部

内容 : 館林市、板倉町、明和町の職員によるSDグループ・モデリングの発表会

期日 : 2004年2月9日 13:30~15:30 「大学生による“21世紀のプラン”研究発表会」

場所 : 群馬県庁2階ビジターセンター 主催:群馬県

内容 : シミュレータ・ソフト SimTakN による総合計画の研究発表会

印刷物 :

1. 11月14日のシンポジウム報告書 120ページ、1月発行

2. オープンリサーチセンター報告書(群馬県の総合計画とSimTakN、4ページ)

3. 松尾友規編著「環境共生社会学」朝倉書店、2月発行(SimTakN、27ページ)

研究分科会名称 : 自然・社会の環境モデル

主査 : 森 義仁 幹事 : 松本 安生

メンバー：上原 卓郎、松本 安生、池田 誠、末武 透、香月 祥太郎、天野 佐寿、
本田 数博、岡村実奈、森 義仁、佐野 由利子、辻 稔郎、雨宮 隆、松本 憲洋、
鈴木航介

第1回 2002/6/15 13:00-15:00 お茶の水女子大学理学部3号館大講義室

第2回 2003/6/12 13:00-15:00 お茶の水女子大学理学部1号館415号室

研究分科会名称：合意形成研究分科会

主査・幹事：松本安生

メンバー：宮本善文、辻 稔郎、池田 誠、岡村実奈、天野佐寿、榎本哲也、上原拓郎、松本安生

期日：2003年3月27日 鹿児島県屋久島におけるシミュレーションモデルを用いた合意形成手
法研究を題材にしての議論。

研究分科会名称：日本経済モデル研究分科会

主査：小林秀徳 幹事：松本憲洋

メンバー：岩澤嘉則、内山 章、佐々木登、末武 透、松本憲洋、辻稔郎

内容：複数のエコノミストによる著書の論旨をSDモデルで表現するための勉強会を
開催した。

期日：2003年7月2日(水) 勉強会 場所：POSY Corp.

期日：2003年9月28日(日) 徹底演習 場所：POSY Corp.

期日：2003年11月1日(土) 勉強会 場所：POSY Corp.

期日：2003年11月16日(日) 勉強会 場所：POSY Corp.

期日：2003年12月18日(木) 勉強会 場所：POSY Corp.

5. System Dynamics Society などでの国際交流

(1) The 21th International Conference of The System Dynamics Society

July20-24, 2003 New York, USA

(2) System Dynamics Society の日本支部としての定例的な活動を黒野副支部長が実施した。

6. 会員数の現状

会員数(2003年12月31日現在):122名

内、一般会員:103名、学生会員:15名、賛助会員:2グループ 4名

入会者数(2003年1月1日~2003年12月31日):37名

退会者数(2003年1月1日~2003年12月31日):20名

7. 運営におけるコミュニケーション体制

JSD内のコミュニケーションについては、公式連絡、情報交換、研究分科会など用のメーリングリストを開設し、全面的にメールシステムを活用して運営した。

外部に対する情報開示・普及促進活動については、従来どおりHPを活用した。

(3) 2004・2005 年度 支部長選出

2003年12月8日に理事会を開催し次期支部長候補の選挙結果の開票作業を行いました。

投票結果

候補者名 : 森田 道也 氏
投票数 : 62 票
信任票 : 62 票
不信任票 : 0 票
無効票 : 0 票

理事会では、選挙結果から森田道也氏が次期支部長候補として信任されたと結論し、直ちに森田道也氏に新理事会を準備するように連絡しました。

よって、森田道也氏を新支部長として推薦します。

(4) 2003 年度役員等の承認

以下の役員案を新支部長として提案します。承認を求めます。

支部長 : 森田道也
副支部長 : 山内昭(地方研究会担当)・末武透(本部研究会担当)
理事 : 和泉潤(地方研究会担当)・森義仁(本部研究会担当)・
内野明(国際交流担当)・黒野宏則(広報担当)・
町田欣弥(学会誌編集担当)・三藤利雄(学会誌編集担当)・
松本憲洋(総務担当・事務局長)
監事 : 松本安生・明神知

以下の会員を幹事として任命します。

幹事 : 上原拓郎(ML 管理)
村上祐介(会計事務・研究会に関して森理事を支援)・
鈴木航祐(会員庶務・研究会に関して末武副支部長を支援)

以下の4名に顧問を委嘱します。

顧問 : 島田俊郎先生、坂倉省吾先生、亀山三郎先生、小林秀徳先生

(5) 2004 年度事業計画案

(2004 年 1 月 1 日 ~ 2004 年 12 月 31 日)

1. SD 研究会

- (1) 関東地区 : 6 回を予定する。
- (2) 関東以外 : 2 回を予定する。

2. 学会誌の発行

発行号数 : 4 号

発行時期 : 2004 年 5 月末日 (特集記事は日本経済モデル研究分科会担当)

翌年号の準備: 論文募集 2004 年 11 月 (発行予定 2005 年 3 月末日)

3. 研究分科会の活動促進

2004 年度の分科会 : 2003 年度の 6 分科会を全て解散し、新たな提案に基づき開設する。

4. フォーラム / シンポジウムの開催

- (1) 第 4 回新世紀実学フォーラム 2004 年 5 月予定 日本経済モデル研究分科会担当
- (2) 第 5 回新世紀実学フォーラム開催準備

5. System Dynamics Society などでの国際交流の促進

The 22st International conference of the System Dynamics Society

July 25 - 29, 2004 Oxford, England

6. SD の普及のための Web 公開・講習会など

7. 運営体制

理事会メンバーが、本部研究会、地方研究会、国際交流、学会誌編集、広報、総務・事務局を特命分担任して担当し、年間の運営にあたる。

幹事が、ML 管理、会員事務、会計事務、研究会支援に関する業務を事務局長の下で分担して担当する。

事務局は当面、有限会社ポウジ内に仮設置する。

以上

(6) 2004 年度事業予算案

(2004 年 1 月 1 日 ~ 2004 年 12 月 31 日)

下記の通り、国際システムダイナミクス学会日本支部 2004 年度事業予算案をご報告いたします。

	2003年度決算額	2004年度予算額
収入の部		
前期繰越金	865,058	1,393,623
個人会費	711,000	700,000
賛助会費	150,000	100,000
出版物売上	15,750	20,000
雑収入	93,867	50,000
当期収入合計	970,617	870,000
収入の部合計	1,835,675	2,263,623
支出の部		
通信費	53,255	70,000
資料印刷費	0	50,000
事務用品費	13,245	30,000
講師料	70,000	50,000
講師交通費	0	40,000
交通費	720	30,000
雑費	15,761	15,000
研究会地方開催補助費	72,830	70,000
研究分科会補助費	0	100,000
アルバイト謝金	10,000	50,000
学会誌印刷代	189,000	200,000
前年度未処理分	17,241	18,240
事務所賃貸料	0	24,000
当期支払い合計	442,052	747,240
次期繰越		
現金残高	63,486	
預金残高	1,330,137	
現預金合計	1,393,623	1,516,383
支出の部合計	1,835,675	2,263,623

国際システムダイナミクス学会日本支部 規約

第1条 (名称)

本支部は国際システムダイナミクス学会日本支部と称する。

第2条 (目的および事業)

本支部は国際システムダイナミクス学会日本支部英文規約 (Constitution of the Japanese Chapter of the System Dynamics Society, 以下規約という) 第2条に掲げる目的を達成するために次の事業を行う。なお、事業活動に必要な規則等は別に定める。

- (1) システムダイナミクスに関する研究会の開催
- (2) システムダイナミクスに関する図書、報告書、資料等の発行
- (3) システムダイナミクスに関する調査研究
- (4) システムダイナミクスに関係ある内外の学会、その他団体との連絡協議
- (5) その他規約に掲げる目的の達成に必要な事業

第3条 (会員構成)

- 1 本支部は会員と準会員に区分される一般会員、学生会員および賛助会員をもって構成する。
- 2 会員は国際システムダイナミクス学会 (The System Dynamics Society) の会員で、本支部の主旨に賛同し、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
- 3 準会員および学生会員は前項以外のもので、本支部の主旨に賛同し、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
- 4 賛助会員は本支部の主旨に賛同する団体で、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。なお、賛助会員は1口につき3名分の資料提供を受け、研究会活動に参加登録できる。

第4条 (入会)

- 1 入会を希望するものは、所定の入会申込書によって日本支部の会長に申し出なければならない。
- 2 入会は理事会において承認し決定する。

第5条 (会費)

本支部の会費は一般会員については年5,000円、学生会員については年2,000円、賛助会員については1口年50,000円とする。

第6条 (退会)

- 1 一般会員、学生会員および賛助会員は日本支部の会長に届け出て退会することができる。
- 2 会費の滞納が1ヶ年以上におよぶときは原則としてその資格を失う。

第7条 (役員)

本支部に次の役員を置く。

会長 (President)	1名
副会長 (Vice-President)	3名以内
理事 (国際担当: International Society Liaison)	1名
理事 (総務担当: Secretary)	1名
理事	10名以内
監事	2名

第8条 (役員を選任)

- 1 会長は総会に先立つ会員選挙によって選出する。選挙細則は別途定める。
- 2 副会長、理事、監事は総会において一般会員および賛助会員中より出席者の過半数の賛成を得て選任する。

第9条 (理事会)

- 1 理事会は役員をもって構成し、毎年の総会時および会長がその必要を認めたととき、または役員数の過半数以上の要請があるときに開催する。
- 2 理事会は、本支部の活動を統括する。
- 3 理事会は、必要に応じて日本支部の活動にかかわる事項を審議し、実行するための各種委員会・分科会を設置することができる。
- 4 会長が必要と認めたとときは、幹事を置くことができる。
- 5 委員および幹事は、会長が委嘱する。
- 6 委員、幹事の任期は2年とし重任を妨げない。
- 7 理事会は、日本支部の活動を支援、指導いただくために顧問会議を設置することができる。

第10条 (役員任期)

役員任期は2年とする。

第11条 (顧問)

会長は、理事会の議を経て、顧問を委嘱することができる。

第12条 (総会)

総会は年1回以上開催し、役員選任、事業計画、予算、決算、規約の変更、その他重要事を承認する。

第13条 (定足数)

総会の定足数は会員の3分の1以上、理事会の定足数は役員数の2分の1以上とする。

第14条 (会計年度)

会計年度は毎年1月1日より12月31日にいたる期間とする。

第15条 (事務局)

1 本支部の事務局を下記に置く。

〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12-104 藤和半蔵門コープ1F POSY Corp. 内
国際システムダイナミクス学会 日本支部事務局
Tel & Fax 03-3512-5358

2 事務局は理事 (総務担当) と幹事で構成し、理事 (総務担当) が事務局長を務める。

- 付 則 1 第10条の規定にかかわらず、支部発足時の役員の任期は1991年12月31日までとする。
2 本内規は1990年9月22日より発効する。
3 1991年7月22日一部改正
4 1992年2月17日一部改正
5 1995年3月13日一部改正
6 1996年3月29日一部改正
7 2003年2月12日一部改正
8 2004年1月31日一部改正

「国際システムダイナミクス学会日本支部 会長選出に関する細則」

- 第1条 この細則は「国際システムダイナミクス学会日本支部規約」第8条に 定めた会長の選出に関する手続きを定めるものである。
- 第2条 1 会長の選出は次の各項による。
2 会長は一般会員と賛助会員に対して、文書またはそれに準じる方法によって次期会長候補の推薦を期末の45日以前に、14日間の期間を設定して求める。
3 5名以上の会員が推薦し、被推薦者が候補者となることを了承することにより、代表推薦人は会長に文書またはそれに準じる方法で、以下の内容を届出る。
推薦人：氏名、住所、所属、e-mail、電話、(代表推薦人マーク)
被推薦人：氏名、住所、所属、職位/資格、e-mail、電話、専門、略歴、
JSD会長としての目標・抱負(400字以内)
4 会長は規定の期間内に届出があった候補者に確認した上で、会長選挙を郵便により期末の14日以前に7日間の期間を設定して実施する。
5 会長は会長選挙の結果を理事会で開封して集計し、第1位の候補に当選認定書を交付し、新役員候補の選定を促す。
6 新年度の総会において会長は、新会長に権限を委譲する。

以上

添付資料：研究分科会の設立と運営に関する内規

1. 研究分科会が発足するまでのプロセス

提案者：研究分科会の設立提案をナンデモ・メールで発信
全会員：ナンデモ・メールによる意見交換とメンバー募集
提案者：研究分科会の設立提案書を事務局までメールで送付
支部長による承認
研究分科会活動開始

2. 諸規定

(1) 設立条件

5名以上の会員をメンバーとして、代表者が提案し、その目的がJSDの活動主旨に沿い、JSDの研究・普及活動を活発化させる可能性が認められるとき、支部長は研究分科会の設立を承認する。

(2) 参加資格

研究分科会の活動に貢献するJSD会員は、いかなる研究分科会にも参加できる。

(3) 研究分科会の組織と運営

分科会には主査と幹事をおき、事務局が設定した分科会専用のMLの管理も自主的に行う。

(4) 研究分科会の権利と義務

分科会メンバーの変更があった場合には、速やかに事務局に届け出る。

研究報告を研究会で発表するよう担当理事に求められた場合には指示に従う。

少なくとも年1回以上はJSD研究会等で発表する。

会議場、コピー代など研究分科会開催に必要な経費は、領収書とともに担当幹事に申請すれば支払を受けることができる。ただし、各研究分科会ごとの上限を、2004年度は20,000円とする。

3. 研究分科会の設立申請様式

メンバーリストを入力したExcelファイルと下記の申請内容を事務局メール宛に送付して申請する。

事務局：jsd-office@egroups.co.jp

分科会設立申請書

下記の内容の研究分科会の設立を申請します。

申請日：2004年 月 日

申請者：

名称：研究内容が推測できる研究分科会の名前

共同申請者：添付するExcelファイルに5名以上のJSD会員名を記載

趣旨：<研究分科会を立ち上げる背景と狙い、参加メンバー利得、期待できる成果、等について具体的に記載>

研究内容：<研究対象、研究構成、研究内容、研究計画、等について具体的に記載>

研究体制：<研究組織、研究実施方法、打ち合わせ頻度・形式、作業分担方法、等についてできるだけ具体的に記載>

添付するメンバーリストのExcelファイル

代表世話人を含めて下記情報を記載

名前、e-mailアドレス、電話番号、所属機関名、連絡住所

改訂案説明資料

国際システムダイナミクス学会日本支部 規約

第1条 (名称)

本支部は国際システムダイナミクス学会日本支部と称する。

第2条 (目的および事業)

本支部は国際システムダイナミクス学会日本支部英文規約 (Constitution of the Japanese Chapter of the **International** System Dynamics Society, 以下規約という) 第2条に掲げる目的を達成するために次の事業を行う。なお、事業活動に必要な規則等は別に定める。

- (1) システムダイナミクスに関する研究会の開催
- (2) システムダイナミクスに関する図書、報告書、資料等の発行
- (3) システムダイナミクスに関する調査研究
- (4) システムダイナミクスに関係ある内外の学会、その他団体との連絡協議
- (5) その他規約に掲げる目的の達成に必要な事業

第3条 (会員構成)

- 1 本支部は会員と準会員に区別される一般会員、学生会員および賛助会員をもって構成する。
- 2 会員は国際システムダイナミクス学会 (The **International** System Dynamics Society) の会員で、本支部の主旨に賛同し、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
- 3 準会員および学生会員は前項以外のもので、本支部の主旨に賛同し、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
- 4 賛助会員は本支部の主旨に賛同する団体で、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。なお、賛助会員は1口につき3名分の資料提供を受け、研究会活動に参加登録できる。

第4条 (入会)

- 1 入会を希望するものは、所定の入会申込書によって**支部長日本支部の会長**に申し出なければならない。
- 2 入会は理事会において承認し決定する。

第5条 (会費)

本支部の会費は一般会員については年5,000円、学生会員については年2,000円、賛助会員については1口年50,000円とする。

第6条 (退会)

- 1 一般会員、学生会員および賛助会員は**支部長日本支部の会長**に届け出て退会することができる。
- 2 会費の滞納が1ヶ年以上におよぶときは原則としてその資格を失う。

第7条 (役員)

本支部に次の役員を置く。

会長 支部長 (President)	1名
副会長 副支部長 (Vice-President)	3名以内
理事 (国際担当: International Society Liaison)	1名
理事 (総務担当: Secretary)	1名
理事 (会計担当: Accountant)	1名
理事	10名以内
監事	2名

第8条 (役員を選任)

- 1 **会長は総会に先立つ会員選挙によって選出する。選挙細則は別途定める。**
- 2 **役員副会長、理事、監事は総会において一般会員および賛助会員中より出席者の過半数の賛成を得て選任する。**

第9条 (理事会)

- 1 理事会は役員をもって構成し、毎年の総会時および**会長支部長**がその必要を認めるとき、または役員数の過半数以上の要請があるときに開催する。
- 2 理事会は、本支部の活動を統括する。
- 3 理事会は、必要に応じて日本支部の活動にかかわる事項を審議し、実行するための各種委員会・分科会を設置することができる。
- 4 **支部長会長**が必要と認めるときは、幹事を置くことができる。
- 5 委員および幹事は、**支部長会長**が委嘱する。
- 6 委員、幹事の任期は~~1~~**2**年とし重任を妨げない。
- 7 理事会は、日本支部の活動を支援、指導いただくために~~顧問会議アドバイザリーボード~~を設置することができる。

第10条 (役員任期)

役員任期は2年とする。

第11条 (顧問)

支部長会長は、理事会の議を経て、顧問を委嘱することができる。

第12条 (総会)

総会は年1回以上開催し、役員選任、事業計画、予算、決算、規約の変更、その他重要事を承認する。

第13条 (定足数)

総会の定足数は会員の3分の1以上、理事会の定足数は役員数の2分の1以上とする。

第14条 (会計年度)

会計年度は毎年1月1日より12月31日にいたる期間とする。

第15条(事務局)

- 1 本支部の事務局を下記に置く。
~~〒105-0004 東京都港区新橋1-18-16(財)統計研究会内
国際システムダイナミックス学会 日本支部事務局
電話番号: 03-3501-8496
ファックス: 03-3505-2220~~
〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12-104 藤和半蔵門コープ1F POSY Corp. 内
国際システムダイナミックス学会 日本支部事務局
Tel&Fax 03-3512-5358
 - 2 事務局は理事(総務担当)と幹事で構成し、理事(総務担当)が事務局長を務める。
- 付 則
- 1 第10条の規定にかかわらず、支部発足時の役員の任期は1991年12月31日までとする。
 - 2 本内規は1990年9月22日より発効する。
 - 3 1991年7月22日一部改正
 - 4 1992年2月17日一部改正
 - 5 1995年3月13日一部改正
 - 6 1996年3月29日一部改正
 - 7 2003年2月12日一部改正
 - 8 2004年1月31日一部改正

「国際システムダイナミックス学会日本支部 会長支部長候補選出に関する細則」

第3条 この細則は「国際システムダイナミックス学会日本支部規約」~~第7条第8条~~に 定めた**会長支部長候補**の選出に関する手続きを定めるものである。

- 第4条
- 1 **会長支部長候補**の選出は次の各項による。
 - 2 **会長現支部長**は一般会員と賛助会員に対して、文書またはそれに準じる方法によって次期**会長支部長候補**の推薦を期末の45日以前に、14日間の期間を設定して求める。
 - 3 5名以上の会員が推薦し、被推薦者が候補者となることを了承することにより、代表推薦人は**会長現支部長**に文書またはそれに準じる方法で、以下の内容を届出る。
推薦人 : 氏名、住所、所属、e-mail、電話、(代表推薦人マーク)
被推薦人: 氏名、住所、所属、職位/資格、e-mail、電話、専門、略歴、
JSD **会長支部長**としての目標・抱負(400字以内)
 - 4 **会長現支部長**は規定の期間内に届出があった候補者に確認した上で、**会長候補者選考**選挙を郵便により期末の14日以前に7日間の期間を設定して実施する。
 - 5 **会長現支部長**は**会長候補者選考**選挙の結果を理事会で開封して集計し、~~その結果を~~第1位の候補に**当選認定書**を交付し、~~伝達して~~新役員**理事**候補の選定を促す。
 - 6 新年度の総会において**会長現支部長**はが、**新会長**に権限を委譲する。**支部長選考選挙の結果を発表し、「国際システムダイナミックス学会日本支部規約」第8条に則り新支部長の選任を行う。**
~~第5条 副支部長・理事・監事の選任については、新支部長の議事進行の下に「国際システムダイナミックス学会日本支部規約」第8条に則り実施する。~~

以上